

国保野上厚生総合病院を受診した患者様およびご家族の方へ

研究課題「脊椎椎体骨折患者の歩行方法の違いによる椎体変形への影響」

へのご協力のお願い。

## 1. 研究の対象

2014年10月1日～2023年10月31日に当院に脊椎椎体骨折にて入院し理学療法を受けた患者様。

## 2. 研究目的・方法・研究期間

脊椎椎体骨折は骨折の程度や骨密度によっては徐々に椎体(背中の骨)が変形したり、潰れたりといった経過が見られることがあります。昨年当院の研究で歩行訓練時に平行棒を使用した歩行よりも歩行器を使用した歩行の方が骨折部に負荷がかからない可能性が示されました。今回の研究では歩行訓練開始時の歩行方法の違いにより椎体変形への影響を比較検討することを目的に実施します。

椎体変形を少しでも軽減できる可能性が示されれば今後の脊椎椎体骨折の患者様の治療に役立つと考えます。

研究期間：承認日～2023年10月31日

この研究は国保野上厚生総合病院倫理委員会の承認を受けて実施するものです。

## 3. 研究に用いる情報の種類

診療情報：X線画像から椎体圧潰率・椎体骨折評価基準のグレード、骨密度（この際、生年月日、カルテ番号、住所、氏名などの個人を特定するような情報は研究に用いません。）  
収集した情報は、解析する前に氏名・患者IDなどの個人情報を削り、新たな符号（番号）をつけ、どなたのものかわからないようにします（このことを匿名化といいます）。匿名化したうえで、当院内のパスワードロックのかかるパソコン上の情報漏洩対策を施したサーバーに保管します。

## 4. 研究組織【研究機関名及び本学の研究責任者氏名】

研究機関：国保野上厚生総合病院

研究責任者：リハビリテーション科 松本拓也

## 5. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者様もしくは患者様の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者様に不利益が生じることはありません。

ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究の成果は、患者様の氏名等の個人情報が明らかにならないようにした上で、学会発表や学術雑誌等で公表します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについてはお問合せがあれば開示いたします。

この研究についてわからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、2023年10月23日までに下記の連絡先までお問い合わせください。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

研究責任者：理学療法士 松本拓也

所在地：〒640-1141 和歌山県海草郡紀美野町小畑 198

実施機関名：国保野上厚生総合病院 リハビリテーション室

電話番号：073-489-2178（代表）

FAX：073-489-5639

e-mail: pt@nokami-hospital.jp